



小春日和のぬくもりが気持ちのよい季節となりました。法学類月報第 13 号では、西岡晋先生のご紹介、最近の出来事から金沢市の条例企画立案研修に参加している行政法ゼミからのレポート、夏休みの語学研修に参加した学生からの寄稿をお届けします。



◆連載◆ 法学類の先生 第 11 回 西岡晋先生（政策過程論）

みなさんは勉強は好きですか。私はあまり、というよりまったく好きではありません。大学も 2 浪してやっと入りました。第二次ベビーブーム世代なので人口も多く、大学も入り難かったのです。というのは、言い訳ですね。

大学での成績は良くも悪くもなく、「政策科学研究」というゼミに入りました。指導教授は経済学を専攻される先生でしたが、なぜか、最初に課された読書レポートがすべて政治学関連の書物で、そのなかの 1 冊、大嶽秀夫先生の『自由主義的改革の時代』がその後の私の人生を変えました。政治学の面白さを初めて知ったのです。

ゼミは「勉強」ではなく「研究」をするところで、私の性にあっていました（さすがに合宿が年 5 回あるのには閉口しましたが今となっては良い思い出です）。思えば、小学生のころから夏休みの自由研究で物事を調べて発表することが好きでした。興味がないことでも無理にやらなければいけない「勉強」は嫌いなのですが、自分が発した問いを出発点として、自らその答えを探究する「研究」は好きなのです。

そのあとも紆余曲折がありましたが、周囲の支えもあって、研究という好きなことをし続けることができ、しかも、それを仕事にできたのは幸いでした。やはり、「好きこそ物の上手なれ」でしょうか。いや、まだ「上手」にはなっていないので、これはゼミの恩師に教わった言葉ですが、「窮すれば通ず」だったのでしょう。

それにしても、自分が大学の先生になるなんて、大学生のころには思いもよりませんでした。人生、どうなるか分からないものです。

Current News
最近の出来事から

平成 26 年度金沢市条例企画立案研修(行政法ゼミ)

行政法ゼミは、平成 26 年度金沢市条例企画立案研修に参加し、金沢市職員の方々とともに模擬条例（政策企画書、条例案及び関連規則、条例の概

要書)の制定を行っています。この研修は、長内が講師を務め、金沢市「学生のまち・金沢 学生のまち推進条例」の実現の一環として、法学類生も参加しているものです。本年度は9月30日からスタートし、5回にわたる全体研修と、グループごとの個別の勉強会をへて、最後に関係部署の方々を前にしての報告会に臨みます。各グループは、生活保護受給者のギャンブル禁止、ごみ屋敷対策、貧困ビジネス規制、並びに職務行為等審議会という、いずれも近年重大な社会問題として認識され、条例化の動きがみられる比較的新しいテーマについて、条例の企画立案を試みています。



写真は、9月30日の第1回目の研修における鴨野幸雄名誉教授(2002年3月まで法学部の憲法担当教授)による基調講義の様子です。鴨野先生には、ご多忙にもかかわらず講義を賜りましたこと、心より御礼申し上げます。
行政法ゼミ担当・長内祐樹



「Scottish Independence — エジンバラで見たもの」

僕たちは、今期の夏休みを利用して、スコットランドの首都エジンバラへ3週間語学研修に行きました。エジンバラに到着した時には、独立投票の2週間前ということもあり、熱狂に溢れていて一種のイベントのようでした。市内の中心部では、毎日のようにYES・NO派どちらも宣伝しており、連日のようにテレビでも世論調査の結果が報道されていました。

しかしイベントだけに留まらず、スコットランド人がひとりひとり国の将来を熟考していると思った瞬間があります。それは、大学で催された独立に関する討論会でした。

独立時に争点となっている間について、YES・NO派が熱のこもった早口のディベートを行っており、あらためて Vocabulary ·

Listening 不足を痛感しつつ、国に対する熱意というものをヒシヒシと感じました。

選挙当日、驚愕することがありました。それは、YES・NO派が隣り合わせで宣伝をしていたことです。それに加えて、相手方への批判は全くなく、お互いを尊重している印象すら受けました。僕たちは、これこそが民主主義の原点ではないかと思いました。選挙結果はNOでしたが、投票率は8割を超えており、政治に対する関心の高さを見せつけられた気分でした。

昨今、日本では投票率の低下が目立ち、政治に対する関心が薄れているようです。国民が縦横無尽に様々なテーマについて話し合われていないように感じます。今こそ、スコットランドの独立投票を見習って、国民の政治参加の在り方を再考することが必要だと感じました。

法学類 2年 村田光・水谷優希



街中で見かけられたYES・NO派の広告

- 法学類の学生、卒業生、教員に関するイベント等の情報を、ぜひお寄せください。
- 関係者の皆様のご寄稿を歓迎します。採用された方には、法学類グッズを進呈します。
- 本誌のバックナンバーは、法学類 HP (<http://www.law.kanazawa-u.ac.jp/home/geppo>) に掲載していますのでご覧ください。
また、メールでの定期配信(無料)をご希望の方は、金沢大学人間社会系事務部学生課 法・経済学務係 (n-hkgaku@adm.kanazawa-u.ac.jp) までお申し込みください。
- お読みになってのご意見ご感想は、上記メールアドレスまでお寄せください。